



サイジャーナル

月刊
5-1-2
第467号

日本サイ科学会 令和5年1月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963	北 陸 〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミスト金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 2034	関 西 〒545-0034 大阪市阿倍野区 阿倍野元町1-2 和 田 高 幸 ☎ 06 (6624) 0569・FAX 06 (6624) 5061	九 州 〒814-0015 福岡市早良区 室見1-1-3-2F 伽 羅 ☎ 070 (7782) 6216・FAX 092 (846) 8200
--	--	--	---	---

年頭のご挨拶

会長 浪平 博人

新しい年を迎えるにあたり、日本サイ科学会の発展と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



最近ハツとすることがありました。昭和の名曲を本人が歌うテレビ番組でした。その最後の方で新曲として、ゞさだまさしゞ氏による今のウクライナを悲しむ歌がありました。歌詞は正確ではありませんが、次のような内容でした。「なぜあなたは人を撃つのか。私は人を撃たないがポケットに花の種を一杯いれ戦車の前に立ちただかることは出来る。私は撃たれることだろうが、私は続く。そし

ていつか花はいっぱいに咲くだろう」というような詩でした。

私は撃たれて死ぬだろうが、それでも（別の）私が続くと詩っています。別の人も私なのです。この詩人の目からは私も他の人も同じ命を紡ぐ区別のないものなのでしょう。いやもつと進んで、命の受け皿である宇宙と私とが区別できない境地に達しておられるのかもしれない。

これは古の東洋の賢人が直観的に悟ったゞ梵我一如ゞそのものです。今の世にこれを世相に託して歌い上げるとはすばらしいではありませんか。

ゞ私の意識は世界の果てまでを思いめぐらすことができます。それを意識できるゞ私ゞは宇宙そのものなのです。しかしながら何を間違ったかゞ自由ゞの名のもとにゞ私ゞは自分自身である宇宙を痛めています。最近の気候の荒れ具合はこの証左です。人類自体が自然と同じ命でつながっていることに早く気が付かねばなりません。

今月号の記事

- ◎年頭のご挨拶
- ◎御寄付御礼
- ◎二月本部例会のお知らせ
- ◎四月本部例会のお知らせ
- ◎関西日本サイ科学会からのお知らせ
- ◎第6回占星学と運命創造学の研究分科会のお知らせ
- ◎第48回宇宙生命研究分科会予告
- ◎令和4年4月本部例会の報告I
- ◎第四七〇回関西サイ科学会報告
- ◎本部例会ビデオ映像販売
- ◎宏観異常現象観測で地震予知ができるか 動物の地震予知2
- ◎能力者としてガンと寄り添う

◆ ◆ ◆
今年はそのような流れが大きくなりますように。

一般の御寄付御礼

(12 / 3 受領分まで)

◆ ◆ ◆
金二十五万円也 匿名様
金十一万円也 匿名様

二月本部例会のお知らせ

心身にいい水

講師 中島 敏樹氏

澤本 三十四氏

日時 令和5年2月19日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ9階901会議室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員二千円(当日入会可)

一般三千円 学生一千円

講演内容

感情も思想も水が感じ、水が考
えているとして理論物理学者は
「量子場理論」を唱えています。
水は生体構築インフラ作用と生命
の精神作用を請け負っている・・・
水の実態(姿形)を把握した実体
(魅惑作用)の解明をします。

電気泳動現象を見極める微乾燥
顕微鏡観察と水の第二誘電分極
(生命体のβ分散域)を証するパ
ルス分光器アクア・アナライザと

の統合解析から帰納した結論とな
ります。

各種物性値、ナノサイト分析器
や気体放電視覚化計測器の分析結
果も参考に、中島・澤本のコロイ
ダル領域論を体系化し、共著書
『水の生命力・理論と実践』を発
刊しました。

2016年には日本物理学会も、
「詳細は不明だが、水は二元状態
である」と発表しています。最先
端科学が解明に着手し始めている
生体系の水「結合水」とコロイダ
ル領域論の水の生命電磁気作用が
同じであることが分ってきたので
す。

生命誕生の『特異点の水』、健
康寿命の請負師の水の理論と実践
のお話を分かりやすく致します。

※水について、いろいろご質問も
受けられますので、会員の皆様は
是非ご参加願います。

◎中島敏樹氏プロフィール

水の分析器「アクアアナライザ」
と出会い、水の新たな誘電緩和域
(500～500KHz)を明らかにした。
水の内在リズムの存在やコロイダ
ルの表面陰電荷について論じた。

氣、想念、音響など微弱エネルギー
Iを、水を介して測り、魅惑の本
質解明の道筋をつけた。水と珪素
(シリケート4面体SiO₄)の集団
を一体と見做し、その隠れた機能
「波動特性」を追いかけている。
つい最近澤本氏との共著書「水の
生命力・理論と実践」を発刊した。

◎澤本三十四氏プロフィール

天城抗火石と出逢い各種セラミ
ックスを開発、水処理・改質を手
掛ける。農業の育成指導、難排水
処理を生業としている。昭和52年
牛糞尿処理で発明大賞考案功労賞
を受賞。異業種のコンクリート工
業用の混練水や機械工作機のク
ラント工作液の改質水を手がけて
いる。

また微乾燥顕微鏡観察で、溶液
の二状態の実態を見届け、六芒星
型溶液構造の観察手法を開発、水
の統合機能解析に努める。萬木千
草と水の魔力を活かし、且つ炭化
珪素を開発、不治の病に苦しむ患
者さんの相談ボランティア活動を
している。水の特異性改質の実践
結果を纏め、共著書を上梓した。

四月本部例会のお知らせ

虹膜が示す身体のサイン～虹膜
学から得たセルフケアの方法～

講師 関 房子氏

日時 令和5年4月16日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ9階901会議室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員二千円(当日入会可)

一般三千円 学生一千円

講演内容

虹膜学とは
目の虹膜には体の状態(病気な
ど)が100%反映されており、
眼を見てわかる健康診断とも言わ
れています。

250年前から存在する医学で、
現在の西洋医学では見つけられな
い身体の問題も虹膜に映し出
されます。その情報は腸から発信
されており、腸から脳へ伝達され
ます。腸の乱れは脳の乱れに繋が

り、脳から発信される自律神経の乱れそのままが映し出されています。その他にも、がんや動脈硬化、手術跡などの傷も反映されます。

今回はこのような虹膜学とは？といった説明、その知識から学ぶ余病法、病気の根本的な原因と治し方、そしてこれから注意すべき病気の予知に至るまでを解説、また、巻き肩、猫背、O脚等、体の歪みからくる症状に対して、自分で出来る身体のケアとして、虹膜学の知識から生まれた「腸整術」を実践します。

○関房子氏プロフィール

埼玉県所沢市生まれ、平成6年に虹膜学（現 虹彩学）の知識を得得し、その後も身体の知識を得る為、様々な医学の勉強に専念、医学博士や各界の先生方とのパイプも構築。虹膜学の観点から、身体の気、血、水のバランスを整える総合整体、「氣道式氣功指圧術」氣道術を考案し、平成23年、氣道術のインストラクターを養成する喜働アカデミーを設立。その後100名以上の施術師を育成、輩出。現在も身体の悩みを持つ、たくさんの方々の相談を受け、解決に導い

ている。

株式会社喜働代表取締役、一般社団法人喜働アカデミー理事長。

関西日本サイ科学会からのお知らせ

関西日本サイ科学会が運用する現行のホームページは、今年末(12月)で廃止となります。これまでものご高覧、誠にありがとうございます。今後研究会や分科会など催しの案内は、「日本サイ科学会」の公式ホームページをご覧ください。なお現行のKPSホームページのアーカイヴ(2019-2022)につきましては、まつむし音楽堂「暮らし魔法館」にてご覧になれますのでお知らせいたします。

末筆ですが、関西日本サイ科学会会長を務めておりました和田高幸は今年度末の2023年3月に会長を辞任し、後任に現副会長の橋本和哉氏(MD)が就任することになりました。次期会長・橋

本和哉のブログ記事もご参照ください。たくさんお願い申し上げます。研究会は今後「オンライン」が主となる可能性がありますが、デジタル化時代にふさわしい「サイ科学」の調査・研究につとめ、「サイ科学会」においても活発な運営を図る所存です。これからも皆様方の多大なお力添えをいただけますよう、心からお願ひ申し上げます。ありがとうございます。

関西日本サイ科学会会長
和田高幸

※関西日本サイ科学会の1月と2月の研究会はお休みとなります。

第6回 占星学と運命創造の研究分科会

2025年から始まる大変革の時代とは？

個人別月運チャートの配布と診断

講師 瀬尾泰範氏

日時 令和5年1月15日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ8階802会議室

交通 J R京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 一千元(当日入会可)
一般 二千元 学生 一千元

※定員がありますので後述の★欄をご覧ください。参加予約願います。

※当日会場にて直接、現金にて参加費をお支払い下さい。

講演内容

現在、書籍や様々なメディアで2025年に「大地震が来る」とか「大災害が来る」という予言や予想がされております。

確かに、2025年には天王星、海王星、冥王星が新しい星座に入り、これらの「トランスサタニアン(土星よりも外側を公転する惑星)」は、1星座を通過する期間が長いので(7年～20年位)、その地球や世の中に与える影響力は加算されて、強力になります。例えば、天王星が自分の支配星座の水瓶座にあった1996年、

2003年には、天王星が象徴する科学・技術と通信、フラットなコミュニケーションと関係性に関わるインターネットが世界中に普及しました。

また天王星は地震に関わる天体でもあります。3・11東日本大震災のほぼ当日に、黄道12星座の起点である牡羊座に入宮しております。

天王星が支配星座の魚座にある2012年〜2025年には、海王星が象徴するUFOやサイ・スピリチュアルな現象・研究に人々の関心が向いております。

2025年には、天王星、海王星、冥王星の3星がしばらくの間、特別なアスペクト(周波数に関わる)を形成します。

ということ、トランスサタニアンの新星座入宮と特別なアスペクト形成等を考慮しながら、瀬尾の関心のある未来予測も含めて、占星学的視点から2025年からどうい時代が始まるかについて解説致します。

また西洋占星学の先端のハーモニクス理論に基づく当会独自の「アストロハーモニックチャートS」

(月運チャート)を使って、参加者の運勢診断を致します。

参加者個人別に今後18ヶ月の月運チャートを配布して見方を説明し、自由に質問を受けながら、個人の運勢診断を分かりやすく解説致します。

さらに水星、金星、火星、木星、土星の2022年1月〜2023年6月にかけて、それぞれの星が通過する星座運行による、比較的短周期の環境運の見方と対処法も解説致します。

参加ご希望の方は以下★の2つの欄を見て、お申込み願います。

◎瀬尾泰範氏のプロフィール

静岡県清水市(現静岡市)生まれ。西洋占星学を40年以上研究、かつプロとして診断もし、70年代に英国のJohn M. Addey氏が提唱したハーモニクス理論を発展させて、独自の「アストロハーモニックチャート」を使い、パーソナリティや才能、運勢等の新しい診断法を確立した。

一般人レベルの念動力も測定できる「サイポテンシャルメーター」を開発し、PK・ESP能力

の養成も指導している。

「アストロハーモニック」、「才能開発研究所」を主宰、日本サイクソロジー学会理事。

著書「来たるべきアクエリアスの時代」(1985 潮文社)、「自分の隠れた才能が見つかる本」(2005 ソフトバンククリエティブ)

★既に分科会に参加されて、当会のホロスコープ(出生天宫図)をお持ちの皆様へ

分科会では参加者ご本人(あるいはご子息等)の月運診断チャート18ヶ月分を当日配布し、診断に利用致します。

配付資料準備のため令和5年1月11日(水)までに「1月15日分科会参加希望」と書いて

info23@astro-h.com宛てにメール送信いただくか、日本サイクソロジーの公式サイト「問い合わせ」フォームからお申込み願います。

★初めてご参加の皆様

参加者ご本人(あるいはご子息等)のホロスコープ(出生図)と月運診断チャート18ヶ月分を当日配布して、診断に利用致します。

配付資料準備のため令和5年1月11日(水)までに「1月15日分科会参加希望」+以下の出生データを書いて

info23@astro-h.com宛てにメール送信いただくか、日本サイクソロジーの公式サイト「問い合わせ」フォームからお申込み願います。

※ご自分のチャート以外に追加のチャートをご希望の方は、その方の出生データを追加願います。(料金は一人につき+1000円です)

☆出生データ☆

◎氏名

◎氏名の読み方

◎メールアドレス

◎電話番号

◎西暦での生年月日

◎出生時刻(午前・午後○時○分まで分かれれば、より診断が正確になります。分からない場合は不明と記してください)

◎出生地(都道府県・郡市区町村・町名と番地まで分かれればベストです↓こちらで緯度と経度を出します。)

第48回宇宙生命研究分科会

第5回 ソクラテスシンポジウム

テーマ「虚空と時空」

日時 令和5年3月25日(土)

午前10時～午後4時30分

会場 北とぴあ7階第二研修室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

参加費 一般 二千元

サイ・サトル会員、学生、60歳

以上一千元

宇宙人0円(但し受付の要認可)

※事前参加申し込みは不要です。

※当日会場にて直接、現金にて

参加費をお支払い下さい。

虚空(あきやしや、アカーシア)

が仏教徒や神秘家の求める宇宙と

すれば、時空は科学者の観測する

宇宙である。この虚空と時空はど

のような関係があるのだろうか？

宗教と科学はPSIを通して

対話できないものだろうか？ 魂

を探究する魂理学こそサイ科学

(Science)なのではないだろうか？ みなさんで楽しく話し合いませんか！ (世話役 阿久津淳)

令和4年4月本部例会報告I

生命現象発生の数理仮説
(命の働きは混沌から現れる)

講師 浪平 博人氏

(日本サイ科学会会長)



今まで命の存在は分かっていたのですが、それがなぜ存在するのかについては語られていませんでした。

そうすると例えば「気づき」とか「美しさ」というものは何で分かるのだろうか？というような基本的な疑問に対しては何も答えられないわけですね。それは「あるもの」として論理は進められていました。

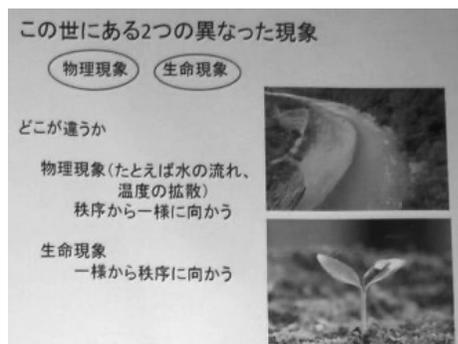
それで今回たまたま確率論を勉強していて、非常に面白いことに気がつきました。それが物理現象と生命を分けるものであると確信し仮説を立てました。それによっていろいろなことが一挙に統一性をもって理解できるようになりました。

結論から言えば、最初に混沌というものがあって、混沌がランダムに変化する、そのランダムの変化が拡散する方向である物理現象と、統一性をもって運動するという生命現象の2つにピタッと同じ数で分かれる、という仮説です。

だから後でお話ししますが、始めに神は天と地を創造された(聖書)のですが、それは生命現象と物理現象に分かれたと考えます。

物理現象は測れるものですが、生命現象は物理現象とは逆にいろいろなもの統一に向かう働きなのです。それがランダムという運

動から導き出されるのです。



生命現象発生の数理仮説ですが、「命の働きは混沌から現れる」ということです。

この世にある2つの異なった現象は「物理現象」と「生命現象」です。どこが違うかという点、物理現象は例えば水の流れとか温度の拡散とかいうようなものですが、これは秩序から一様に向かっている、生命現象はその逆に一様から秩序に向かいます。

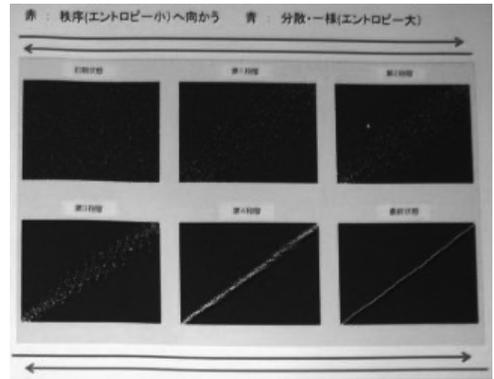
写真の芽吹きですが、これは小さな種からいろいろなものを集めて物事を秩序の方向に働きかけてこのように伸びていくわけです。

川の流れは逆ですね。そのような2つに分かれます。

違いをどう表現するかというところ、「エントロピー」という物事の秩序の度合いを測る尺度で言うとしたら、物理現象はエントロピーが増える方向、すなわち秩序の散逸方向に働く現象、生命現象はエントロピーが小さくなる方向、すなわち秩序の増す方向に働く現象です。

なぜこのような2つの方向があるのか？これがあるといふことについてはいろいろ語られております。しかし「なぜあるのか？」については疑問をストップしています。シユレーディングは「生物は負エントロピーを食べて生きていく」と語っております。

次の図はエントロピーの変化を表す図ですが、左矢印の通り左上(拡散した点)から右方向に行き、左下に続いてまた右方向に行く(1本の直線を形成する)がエントロピーが小さくなる方向↓生命現象、逆に右下から左方向に行き、右上に続いて左方向に行く(左矢印の方向)がエントロピーが増大する方向↓物理現象です。



さてなぜこの2つの方向があるのか？これを問う一段と掘り下げた考察は聞いたことがありません。今回の考察は、物事の初めに本然として存在するもの、それは混沌であるとしめます。この混沌というものがランダムに動くことによつて2つに分離します。それが1つは物理現象、1つは生命現象に分かれます。

秩序方向に働く動きを生命現象と解釈致します。これを今から数理的に説明致します。生命の特徴は自らを生み出すという形式をもっております。これをアルゴリズム的に表せば、「再帰表現」とな

なぜ2つの流れがあるのか？

これを問う一段と掘り下げる考察は聞かない。

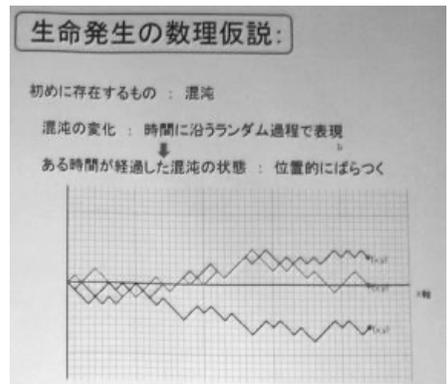
今回の考察

- 物事の初めに本然として存在するもの 混沌
 - この混沌の動きを2つに分離
 - 混沌 → 物理現象
 - 混沌 → 生命現象
- 秩序方向に働く動き = 生命現象の発生原理とする仮説の提示
 - 物理現象は均一平衡状態へ
- 生命の特徴 自らを生み出す形式
 - 表現: 再帰表現
 - $f(A) = \{ A \rightarrow B, f(B) \}$
 - 自分の動き f の説明の中に自分自身 f を含む説明形式

ります。

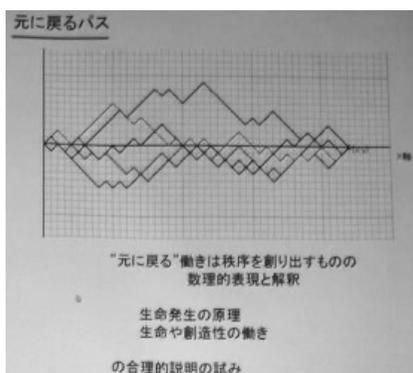
再帰表現というのは、Aというものの中にAはBに変化するのだけれど、Aは自分の変化したもののの中に自分を含むことです。(右図下段のコード参照↓プログラミングで「再帰呼び出し」とは自分自身を呼び出す処理が書かれている関数を呼び出すこと)

図形でいえば「フラクタル」となり、これは「繰り返し」というアルゴリズムでは表せません。「自分の中に自分を含む」というのが生命の特徴となります。

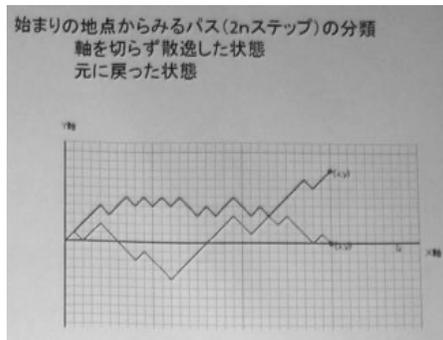


生命発生の数理仮説を説明致します。初めに存在するものを混沌とします。混沌は時間に沿ってランダムに変化していきます。ある時間が経過した後の混沌の状態はいろいろなケースがあり、位置的にばらつきます。

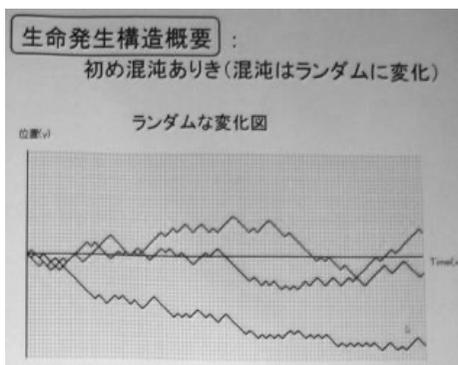
次頁の図のように、始まりの地点からみる移動パス(セカンドステップ)を分類しますと、真ん中の横軸を横切らずに散逸したパス状態(軸から離れていく状態)、それに対してずっと移動した末に元へ戻る(軸を横切る)パス状態があります。実はそれ以外にもあるのですが、それは後で述べます。



左図のように元に戻るパスはいろいろな動きがあつて最後に元へ戻るパスですね。元に戻るパスは「秩序を創り出すもの」の数理的表現と解釈します。

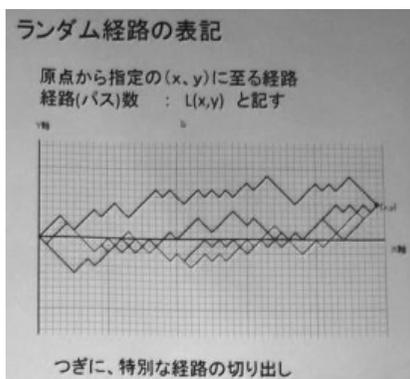


これが生命発生の原理であり、生命や創造性の働きの合理的説明の試みとなります。



生命発生の構造概要ですが、初めに混沌ありきで混沌はランダムに変化していきます。ある時間が経ったときの状態を見ます。いろいろな状態があり得ます。(右図) ランダム経路の表記を原点から始めて、ある指定の点 (x, y) に至る経路(パス)数を $L(x, y)$ と記します。(下図では4)。

その内 x 軸より上の経路(軸を横切らないパス)を取り出すための工夫を鏡像といます。その方法で調べますと、原点から $2n$ ス



テップで(軸の上側だけを通る、あるいは軸の下側だけ通る)軸を横切らないパス数と、 $2n$ ステップで軸に戻るパス数は等しいことが算出されます。

混沌が拡散運動(軸を切らない)と秩序運動(軸に戻る)の2つの運動に等しく分離され、前者は物理現象の原理、後者は生命のエントロピーを小さくする力の原理を示します。すなわち、生命の秩序に向かう働きの原理を、混沌の運動に伴う2つの働き(あるいは場)の一方に見出したこととなります。

以上をまとめます。初めに混沌があり、混沌をランダムウォークにモデル化します。混沌の動きは2つの運動に等しく分離(あるいは

は2つの場を形成)されます。

- ① 軸を切らない拡散方向運動… エントロピー増大(場の形成) 物理現象の原理
- ② 最後に軸に戻る秩序方向運動… エントロピー減少(場の形成) 生命現象の原理



第四七〇回関西日本サイ科
学会研究集会(オンライン)
の報告

憑依診療の進歩〜死霊、生霊、
妖怪、宇宙霊〜

講師 橋本和哉氏

(医師、はしもと内科外科
クリニック院長)

日時 令和4年11月19日(土)
会場 まつむし音楽堂

講演内容(講師記)

私の行う憑依診療も年々、新しい知見が蓄積されます。平成29年にも関西日本サイ科学会で憑依の講座を行いました。今回はさら

に新しい内容を含めてお話ししました。

会場はまつむし音楽堂で、またオンライン視聴も行いました。

話を聞いていただけでも霊を呼び込む事があるのと、実習を行うと霊が外れて浮くこともあるので、参加者には防御のため出来るだけキラキラしたものを身につけて参加してもらいました。

自己紹介後、私(橋本)が霊をチエックしている手法としての「気当て診断法」をお伝えしました。これはコウモリが、当てた超音波の跳ね返りで物を探るように、気を当てて何があるかを探る手法です。

霊だけでなく癌やウイルスなどの身体のこと、感情やトラウマ、気パワースポット、食材の良し悪し、相性、など、いろんな分野で応用できます。

今回扱った憑依の対象は、死霊、生霊、妖怪、宇宙霊などですが、それぞれの憑依が細分化されている上に何と分類して良いのか分からない憑依や憑依体からの意

識による攻撃、呪い、神仏からの怒りのお話などデイープなお話まで披露しました。

まずは死霊ですが、死霊で最も多いのは自分が死んだ自覚が無く霊界に行かずに彷徨(さまよ)っている死霊です。それからトラウマまで抱えているなど悩みの多い死霊もあります。さらに怨みを持って成仏しない霊、使命を持って成仏しない英霊、誰かを陥れて面白がっている悪霊など状況に応じた分類をしています。

死霊で最も多い自分が死んだ自覚が無く霊界に行かずに彷徨(さまよ)っている死霊には日本人の場合、アマテラスオオミカミ様と霊的なルートを降ろし、霊を癒すエネルギーをアマテラスオオミカミ様からいただき死霊に入れることで霊界に上げています。

日本人の場合はアマテラスオオミカミ様や阿弥陀様、地藏様などですが、外国人の場合はその地域の神様をお願いすることになります。トラウマを持った死霊には死霊周辺に有るトラウマエネルギーを消してから同様の手法で上げてい

ます。

悪意を持った悪霊とは生きた人を陥れて喜んでいるタチの悪い死霊です。死ねと言ったり飛び込み自殺に追い込んだりします。これはまともに話し合っても埒があきません。私のやり方は潰す方法を取っています。蔵王権現様に爆弾を頂き悪霊を潰したり、紙に縛り付けてガスで焼き切る方法を取ったりします。

怨みを持つて成仏しない霊も大変な死霊で怨霊(おんりょう)と言われます。ただし、過去生か先祖で怒まれた内容をリーディングしてみると、怒まれるのももつともだと思えるような事をしていきます。怨霊に取り憑かれると何処へ行っても人生はことごとく上手(うま)く行きません。

相談を受ける中で怨霊のケースはとても多い印象です。しかし怨霊と診断できる霊能者はごく少数で、何処へ行っても原因が分からないとされるケースも多いと思われまます。怨霊供養を助けて頂ける仏様にお願いしながらご本人が供養に励む必要があります。

ご先祖が憑依して来ることもあります。どのご先祖さんかを特定して供養します。また、ご先祖からの意識だけが来る場合、左ばかり右ばかりといった特異な症状が出ます。この場合も、どのご先祖かを特定して供養します。

生霊(いきりょう)は人からの強烈な意識だと以前は思っていました。強烈な意識と「生霊」は少し違います。一般の方が生霊と言っているのは強烈な意識の場合がほとんどです。しかし本来の生霊もわずかですが有るようです。強烈な意識エネルギーがあたかも生きているかのように独自に意識を持ち始め、活動して行くのです。まるで死霊のように振る舞います。

生霊が独自に意識を持ち始めるメカニズムは強烈なトラウマのものと別の人格を作り出す「解離性人格障害」の症状に似ています。人からの強烈なエネルギーが、独自に意識を持つて生霊となるメカニズムに似ており、そのようにして生霊が発生するのではないかとお伝えしました。

魔物や妖怪憑依は多くの方が知らないだけで現代社会でも蔓延（はびこ）っています。毒親や自己中心な異常な人にも潜みます。一見、社会的に成功しているように見える人にも存在します。妖怪は他の霊的存在によって作られる場合や元は神様だった存在が妖怪化している場合もあることが分かっています。

妖怪を後ろで操っている場合や妖怪から意識攻撃される場合、傀儡（自分のダミー）を作ってそこから攻撃してくる事も分かりました。まるでアニメの世界を見ているようです。意識攻撃への対処はそれをチェックして壊すとか、インドの神秘図形のヤントラを使うことで防御できることをお伝えしました。

また死霊や魔物を呼び込むポイントや死霊や魔物から付けられることもあります。これがあると他の死霊や魔物が自然とその人に引き寄せられて来て憑依します。そのポイントを探して消すことです。

宇宙霊の定義はネットなどでも明確には載っていませんが、死霊、

魔物、動物霊でもなく、宇宙霊と意識して共鳴反応が取れる霊です。おそらく宇宙人だった存在が憑依して来るのだと思います。宇宙で生まれた魂の人に多く憑依しています。何処の星から来たかは本で調べる事ができますが、普段はそれまでのチェックはやっていません。静かな感じやベトーとしているものなどあります。樹木の枝に居ることもあります。

呪いのケースではどちらから入って来るかをチェックし、キラキラするテープで防御したり手にキラキラしたテープを巻いて防御したこともあります。

神仏の怒りによる症状のこともあります。神仏の手先として働くことを過去生で約束して来たのに、それを拒否する人生を歩もうとしたら病気になるったり時には死んでしまうこともあるのが巫病です。神仏の社殿やお寺を、神仏へのお断りも無く潰すなどすると、相当な神仏の怒りを買います。過去生でそれを行ってもその報いも今世でも受けている事がありません。その原因を探し出してお詫び

する事と、神仏が要求する事を言うことです。

本に載っていない得体の知れない憑依もあります。魔法使いが魔物をいくつか合成して別の魔物を作り出したり、魔物を後ろから操作して、その魔物が別の魔物を操作し、さらにその魔物が別の魔物を操作するなど3重、4重に背後から操作しているケースもあります。

このような憑依を解決するにはいろいろ対策をしないとイケません。その都度、アドリブで考えます。

一通りの解説を終えた後は実習です。

憑依現象をもつ会場参加者がモデルとなり、実際に症状を改善させました。

一人目は死霊憑依でした。一つの死霊は両手で掴んで取り除きました。2つ目はアマテラスオオミカミ様のエネルギーを降ろしてルートを作り、死霊を癒すエネルギーを降ろして浄霊しました。どちらも数十秒程度。直ぐにスッキリされました。

二人目と三人目は妖怪憑依の方でした。効果有ると判定された護符を身体前後に貼り付けると妖怪は護符のエネルギーを嫌って頭から湯気のように出始めました。

1分くらいで妖怪は完全に出て行き、スッキリとされました。さらに曼荼羅（まんだら）カードも使って護符を補強することをお伝えしました。

四人目として宇宙霊憑依の方が居ないかと探したところ、居りました。首から上に憑いていました。効果があると思われる漢方薬を手を持って貰い、そのエネルギーを流すと取れてきました。その方の憑依は、過去生で宇宙に居たためにやってきている宇宙霊でした。ふたたび憑依することがあれば、宇宙過去生の対処も必要になります。

その後は質疑応答にうつり、希望者で懇親会も行いましたことも付け加えておきます。

（講師記）



本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。

価格 1件につき 二五〇〇円
(送料含む)

※御注文はメールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「20※※年〇月〇〇〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

office21@psij.mail-box.ne.jp
FAX 047-330-4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みただければ、結構です。

以下のビデオ映像から、御注文願います。

- ◎2015年10月第25回全国大会
シンポジウムテーマ
「あの世と多次元世界」
◎2015年11月本部例会
講師 坪井香讓氏
「野性と霊性・ヒトの原点
『直立二足歩行』から問う」
- ◎2016年1月本部例会
講師 佐々木茂美様
講師 佐藤禎花氏
講師 苗鉄軍氏
「オーブ研究の現状報告」
- ◎2016年2月本部例会
講師 正木晃氏
「靈魂觀の現在」
- ◎2016年4月本部例会
講師 沖田祐美子氏
「神々の謎」
- ◎2016年5月本部例会
講師 河野貴美子氏
「意識、無意識、そして潜在能力
を脳の観点からどこまで解明できるか?」
- ◎2016年6月本部例会
講師 エスパール・小林氏
「運」がつく人、「霊」が憑く人」
- ◎2016年9月本部例会
講師 志賀一雅氏
「7.8Hzのローα波の驚異」
◎2016年10月
創立40周年記念大会
シンポジウムテーマ「地球外知
的生命・UFOと宇宙人(宇宙
人サミット)」
- ◎2016年12月本部例会
講師 藤枝伸二氏
「藤枝流健康増進法」
- ◎2017年2月本部例会
講師 秋山佳胤氏
「私たちの存在の本質について、
波動的、物質的視点から考える」
- ◎2017年4月本部例会
講師 池川明氏
「子供達の出産前の記憶が教えて
くれること」
- 「子供サミット」
生れる前の記憶を持っている子供
たちと、たいわ士の南山みどりさ
んの『たいけんトーク会』
- ◎2017年6月本部例会
講師 大高ゆうこ氏
「自分も知らない自分と出会う
―夢のチカラ―」
- 講師 小林敦氏
「人類の存亡を分けるもの」
- ◎2017年9月本部例会
講師 石川允朗氏
「健康で長生きすることを科学的
と心霊的、そしてSWIIについ
ての実演」
- ◎2017年10月第26回全国大会
シンポジウムテーマ「AIを乗
り越えるのは?」
「人工知能」
vs PSI「サイ能力」
- ◎2018年2月本部例会
講師 篠浦伸禎氏
「覚醒下手術から始まる統合医療」
- ◎2018年4月本部例会
講師 七沢智樹氏、杉山彰氏
「ロゴストロンシステムが拓く未
来」
- ◎2018年6月本部例会
講師 由井寅子氏
「体・心・魂を三位一体で治療に
導く未来の医学『ZENホメオ
パシー』」
- ◎2018年7月本部例会
講師 清水浦安氏
愛宕なみ氏
「天界に帰還した中村天風先生が
今の日本人に伝えたいこと」
- ◎2018年9月本部例会
講師 秋山真人氏
「40年余の宇宙文明コンタクトか
ら判ってきたこと、異星人と意
識」
- ◎2018年10月第27回全国大会
シンポジウムテーマ「水と健康」
- ◎2019年2月本部例会
講師 東中川徹氏

だが、現実地震発生前には多くの動物、魚類が異常行動をとり、また雲等にも異変が見られ観測もされていることから、検証の仕方によっては地震予知は可能といえる。

ただし、人間だけの予知についてみると、昔から世界中の霊能者、占星術師が地震について予知、予言しているが、結果についてはやはり判断が分かれるところである。

また、霊能者某氏の話で昆虫・鳥等に「高い所に巣を作りなさい」と教え、水没しないですんだということと、低いところの巣作りは地震等が多いとの話についてだが、これは我々人間が認識できない摩訶不思議なことと判断せざるを得ないが、巣作り等の現状を確認すれば人間は分からなくても昆虫・鳥等の方が地震予知、天候の状態は的確に予想しているので、これを見れば有り得ることであり否定は出来ない。

今後、「動物の地震予知」を予知学として位置付けするのには、例えば、動物達が電磁波を察知して異常行動を起こしても、これが地震によるものなのか、他の電気製品等の原因等によ

るものなのか、また察知しても発生日月の特定ができるのか、判断が難しい。

そこで、多くの科学的データを宏観異常現象観測として長期に亘り、積み重ねて因果関係の説明が明らかにできることと、前兆現象があっても、類似の現象との比較検証が可能でなければならないことは、地震予知の条件となるであろう。

また、動物等の行動では、平時の特異行動と異常時での行動パターンについて、規則性があるか、特異の行動を呈する共通現象等があるのかを明確な形で説明、提示することが必要であり、これ等の検証が無くては非科学的なものとして扱われ、「そういえば」的な伝承に止まざるを得ない。そのため、多岐にわたる宏観異常現象を科学的見地から解析し「地震予知学」までに位置付けして行くことが必要と思われる。

(完)

-
- 「エビジェネティクスとは何か？」
◎2019年4月本部例会
講師 佐々木茂美氏
佐藤禎花氏 苗鉄軍氏
 - 「オーブ研究の最近について」
◎2019年6月本部例会
講師 小久保秀之氏
 - 「マイクロPK現象の発生メカニズムについて」
◎2019年9月本部例会
講師 志賀一雅氏
 - 「脳波とパンアレン帯との共鳴について」
◎2019年10月第28回全国大会
シンポジウムテーマ
「スピリチュアル・ヒーリング」
◎2020年2月本部例会
講師 アマナ(呉清恵)氏
 - 「『カタカムナ潜在物理』を基にした生命創造の基礎構造(仮説)による意識体ゼロ化を可能にするヒーリングメソッド」
◎2020年9月本部例会
講師 山崎正男氏
 - 「多能性幹意識の誘導による超能力の覚醒とシーター波の脳波(DT)意識」
◎2020年10月第29回全国大会
シンポジウムテーマ「サイと免疫力」ガン・ウイルスとの闘い
 - 「も含めて」
◎2021年10月創立45周年記念大会
シンポジウムテーマ「サイと瞑想」
◎2021年12月本部例会
講師 志賀一雅氏
 - 「ESPやPK現象を脳波で解明する！」
◎2022年4月本部例会
講師 浪平博人氏
 - 「生命現象発生の数理仮説」
◎2022年6月本部例会
講師 平田進一郎氏
 - 「私が体験し、学んだスピリチュアルヒーリングの真実」
◎2022年9月本部例会
講師 飛沢誠一氏
 - 「この世の人生で活躍、満足する方法とは？」
◎2022年10月第30回全国大会
シンポジウムテーマ
「あの世とサイ」
◎2022年12月本部例会
講師 芳田マサヒロ氏
 - 「なりたいたい自分になる！筆跡の魔法」

異常な雲が見え、地震が発生しそうだとの視覚的現象判断により予想された時、結果として数多くの地震発生を的中させている。

だが、アカデミズムでは飛行機雲を含めた他の雲との鑑別が困難であると、地震雲を否定評価しているのだが、絶対的な肯定、否定から入るのではなく、なぜ地震雲の発生が起こるのかを、科学者としては検証しなければならず、それがなければ地震予知の究明にはさらに遠くなっていくと考える。

犬・ネコが、他の動物より地震に強く感応するというデータがあるが、これらは常に人間の側において、観測しやすいために、データとして高い数値になったとも考えられるが、各地の報告をみれば、確かに予知していると思われる結果が出されている。

なぜ、人以外の動物に感応する能力が強いのかは推定の域を出ないが、犬と人を生理的能力で比較してみると、犬は人の3～4才位の知能を持っており、ある程度の認識が可能である。聴覚は、人(16～20,000 Hz)、犬(65～50,000 Hz)であり、犬は高い音に敏感で、人の何倍もの高い能力を示している。嗅覚では、嗅球細胞が、人(500万個)、犬(1～2億個)から、臭いに対して犬は桁外れの能力を持っていることになる。

そこで、これら以外の能力を含めて、犬は地震に対して、人には感じない特別な能力を持っているのではないかと推定される。

ナマズでは、他の魚類と比較し生理的にも鋭い感覚を保持し、地震への感応は鋭いと思われるが、「古来から、ナマズは地震を感じる」という伝承としての位置付けからも、ナマズについては今後研究の必要性が十分にあると思慮される。

ネズミにおいても、「工事前、船の沈没、火事発生があると、逃げたり大移動する」という話が古来からあり、これは地震だけでなく、色々な災害をも予知する高い能力があるのではないかとと思われる。

カラスも、地震前には異常に騒ぐ、攻撃する等の異常行動をとると言われているが、鳥類の中では一番脳が発達しており、地震への感応も鋭いのではないかとと思われる。また、脳細胞内には磁石があるが、これにより磁気の異常を呈する地震等の感応度も高いのではないかと考え

られる。ゾウの津波を察知する能力については、スリランカ地震時に既知のとおり津波発生前に高台等に逃れ、被害に遭っていないと証明されているがその理由は解明されていない。

これら動物の、一つ一つの地震事例をみると、「地震発生前に、動物達は異常行動をしている」という結果を出さざるを得ないのではないかと。検証をするうえで、動物予知の難しさはあるが、動物と常に接している飼主、動物の飼育員等は日常の動作、挙動から異常に気がつき、後講釈ではあるが「やはり、予知していた」と評価しているようである。

ただし、動物の異常に気付くべき人間も動物であることから判断に幅があり、例えば地震に敏感であり注意を払い動物の行動にも意識を払っているタイプと、何も感じない、このことに無関心なタイプでは、結果が大きく変わって来ると思われる。

また、動物界の頂点に位置する人間は、地震予知が出来るかということになるが、昔から世界各国の霊能者、占星術師の一部の人達により予知・予言されている結果についてはまちまちで判断は分かれる。この様に、人、動物共に地震予知についての事例等が多いが、評価については科学的根拠がないと反論もあり評価に難しい。

従来、伝えられている「動物が、鳥が騒いだ、逃げた」等では、他の事例でも考えられ、地震予知と結びつけることは難しいことから、今後の動物による地震予知についての検証方法としては、地震計と同様に同一地区(施設)に、同一動物を24時間体制で、長期間計測することと、動物体の心拍、血圧、血液成分を適時検診し、異常時前後における動物体の生理と、日常生活の観測結果を、地震計等により観測しているデータと比較検討をしていくことにより、いわゆる科学的な裏付けのある「動物が地震を予知をする」となっていくのではないかと。

まとめ

ネズミ、ゾウ、犬等の動物及びナマズ等を含む魚類や、過去の事例の検証では、確かに地震発生前に異常な行動をとっている。しかし、動物である人間が各予知現象を見ても、その現象を判断できないケースから、全ての「動物は地震を予知する」と言い切ることは難しい。

このことは、地震は人間の精神面に影響を与えるが、同じく動物にも大きな影響を与えているということが分かる。

2004年12月29日に、スマトラ島沖にM9の地震が発生し、これに伴う津波では、インド洋沿岸諸国で30万人以上、スリランカでは2万人以上の犠牲者が出たが、ヤラ国立公園内に生息している野生動物（ゾウ、ヒョウ等）は、津波が発生することを事前に分かっていた高台に逃げたためか、これらの死骸は発見されていないと報告されている。

2007年3月25日発生 of 能登半島地震では、輪島市門前町地区で本震前に「バリバリ、ドン」という異常音を住民が確認していたことがあった。さらに、「ここ2～3ヶ月能登半島西側で魚が釣れなかったので、地震が起きるのではないかと思っていた」との話もあった。

これらは、事例報告であるが、国内の民間に言い伝えられている、主なものを述べると

- ①井戸から、音が聞こえたり、水位が著しく変動する。
- ②龍のような雲が、立ち上がる時は地震に近い。
- ③朝焼けの、太陽の光柱現象は前触れ。
- ④夜間、昼間のように明るい時（発光現象）。
- ⑤日中、カラスの大群が移動、異常に騒ぐ時は地震の可能性がある。
- ⑥大地震前には、磁石に付いていた鉄片が離落する。
- ⑦地震の前には、ネズミが居なくなる。
- ⑧雉が騒ぐ時。
- ⑨海、川等で魚類を見なくなり、又、地震の前は大漁あり。
- ⑩ナマズが多く獲れる、多く跳ねる時。等の地震を予知していると思われる多くの伝承がある。

2011年3月11日に発生した、東日本大震災後に調査を岩手県、宮城県、福島県の動物関係者に聞き取りを行ったが、この震災が余りに大きかったためか、記憶として残っていないようであり、また多くの動物達が飼い主とともに流されてしまい、調査することが困難であった。だが、いくつかの報告資料では、まず電通大の研究グループが、東日本大震災発生 of 5～6日前

には太平洋上の電離層の異常を観測したと発表している。

期間は3月5日～6日にかけて。調布、春日井（愛知県）、高知の3カ所の受信局で、電波の夜間の平均振幅が極端に低くなるという「明瞭な前兆」が現れたと話している。

地震の前兆については、多くの地質学者が懐疑的な見方を示す一方で、同大学の早川正士名誉教授は「地震のメカニズム研究と地震予知は全くの別物」と反論しており、独自の方法で予知の実現を目指し研究に取り組んでいると述べている。（出典：日本経済新聞 掲載記事）

また、地震発生前に各地で報告された異常については、

- ①陸前高田市では震災の約1ヶ月前から、朝夕にカラスの群れが空を覆っていたが、震災の数日前から突然姿を消した。
- ②3月4日夜、茨城県鹿嶋市でクジラ50頭が浜に打ち上げられた。
- ③3月11日の朝、宮城県塩釜市の神社では、いつもはサビなどで赤褐色に濁っている鉄製の「神釜」の水が普段と異なり澄んでいた。（出典：毎日新聞掲載記事）
- ④3月11日の深夜、宮城県石巻市湊地区の公園でカラス50羽ほどが騒いでいた。
- ⑤3月11日の午前10時ごろ、宮城県石巻市湊地区でトンビが数十羽騒ぎながら飛んでいた。との情報があった。

日本だけでなく、世界での地震前の動物達の異常行動についての報告は、殆どが似通っているが、これらから「動物達が予知行動をしている」という解釈をすることが出来ることと、各国での諸現象の申し合わせは有り得ないため、そこには作為的意図が入り難いと考えられることから予知現象を肯定的に考えたい。

宏観異常現象を否定論的に見れば、例えば、1975年中国海城では、前震である微震が続いていたから、地震を事前に察知していたとの解釈がされている。

しかし、宏観異常現象観測による地震予知を否定するだけでは、震度計測定等を含む総合的な地震の予知学としては進歩していかないことから、諸現象を課題として取り入れ、科学的に解析していくことにより、地震予知としての位置付けが出来るのではないかと思慮される。

宏観異常現象観測で地震予知ができるか

動物の地震予知 2

三好 一郎

1988年12月M6.8死者2万5,000人を出した、ソ連アルメニア地震の地震予知調査では、犬36%、ネコ17%、鳥15%、ネズミ9%、魚5%が地震を予知していたとされている。

麻布大学太田光明名誉教授は、地震前に異常行動を起こすのは動物が微弱電磁波を敏感に感じるためとした実験を実施しており、感じる度合いは犬20%、ネコ30%の割合であるとするデータを出しているが、さらに情報を集計する必要があるとしている。

発生例からみても、1855年の安政大地震直前では、ナマズを獲ろうとしたが、騒ぐため獲ることができなかったことから、「地震がある」と記録されている。

中国では宏観異常現象の調査を、30年以上前から続けているといわれており、その中でハト観測では、ハトが夜間でも騒げば異常ありとしている。

また、ネズミが群れで移動、時期はずれのカエルが出現、魚が浮き上がるなどのケースがあるのは、地震が発生する予兆であると観測がされている。

1923年9月の関東大震災では、大砲のような大音響があり、大島の噴火が夜中にことさらに目立っていたと記録されている。

1975年中国の海城で、M7.3の地震が発生したが、中国国家地震局が宏観異常現象として、動物の異常行動のデータを集め、予知に成功し被害を最小限に止めることができています。

しかし、翌年の唐山地震では理由は不明だが予知は失敗し、24万人以上の犠牲者を出し、1944年のカリフォルニアでは、犬が突然意味も無く吠え、猫は異常に臆病になり、鳥はカゴの中でこれも異常に飛び回っていたのが観測されている。

また、1999年のギリシャ、トルコの地震時にも、同現象が起きていたとの報告があった。

1993年5月静岡県伊東市の群発地震では、

熱川バナナ・ワニ園のワニが騒ぐ、源泉温度が上昇したと観測されている。

同年7月の北海道奥尻島地震では、多くのネズミ、ヘビが出現する等の異常が見られた。

1995年1月17日6,000人以上の犠牲者を出した、M7.2の阪神大震災では、

①神戸市西区にある家の周辺から、カラスが2週間ほど前から居なくなった。

②S水族館のイルカが、水中から逃げようとする等の異常行動があった。

③明石海峡大橋付近海域では、小魚の死骸が多く浮き上がった。

④1ヶ月前の徳島県南部では、イカの記録的大漁があった。

⑤神戸市立O動物園では、2～3日前にアシカが異常行動(地電流を、人は20V/1m程度で反応するが、アシカは、0.5V/1mでも敏感に反応するためと思われる)を、起こしていたのを館長が確認している等、多くの異常現象が報告されている。

そして、地震後にK市獣医師会に、「動物の地震予知について、何か感じることはあったか」のアンケート調査を実施した結果、

①鳥が一晩中鳴いていた。

②犬が吠えたり、鳴いていたりしていた。

③犬が、地震前夜は寝ていなかったり、暴れたりして行動が普通ではなかった。

④猫は怯えて、押入れから出なかった。

⑤普段おとなしい猫が、地震発生の数時間前に暴れだした等の回答があった。

そのなかで、地震の2日前から犬の動きがおかしいので、地震が来ると思い地震に備えた人がいた、との報告がされている。

また、「地震の後」のアンケートでは、①余震に怯える犬が多かった。②犬猫のストレスが原因と思われる、食欲不振、下痢、嘔吐、精神不安定等の症状が目立った等の動物診断がされた。



～宇宙からの降臨～

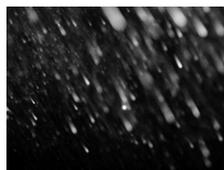
私が撮影した写真画像に音楽を合わせた動画を作りました。この動画を見ながら他の事を考えず、今ここにいる自分と向き合う（マインドフルネス）に最適です。ダイジェスト版がYouTubeで見られます。本編は全部で約33分のDVDとして制作中です。

【ショートバージョン】

月とオーブの宴

アヴェ・マリアとラ・ムーにのせて

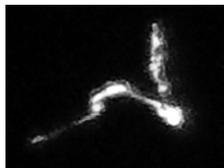
<https://youtu.be/LT0QHiaj6u4>



【ショートバージョン】

シリウスからのサイン

<https://youtu.be/wUKf1zKRNsA>



【ダイジェスト版】

月と星と太陽 ガイド ミドリちゃん

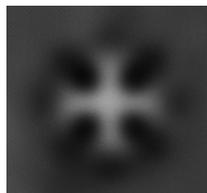
<https://youtu.be/Slav3Q7bHd8>



【ダイジェスト版】

十字神光輪

<https://youtu.be/eMUmk8ftbA>





〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
公式サイト <http://psi-science.org> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

能力者としてガンと寄り添う

佐藤 禎花（北陸日本サイ科学会会長）

昔も今も「ガン」イコール「死」と思っている方々があります。本人も家族も恐怖と不安でいっぱいになり、手術までの待つ時間、又その後のどうして行けば良いのかを家族共々暗い苦しい日々を送る事になります。

人には、いろいろな生活の仕方があり、違いがあります。病気も様々な種類があり、最悪は悪性腫瘍と言われるガンです。

ステージが伝えられ、中には生存率まで、余命宣告を本人が受ける時代になりました。

私も能力者の一人として、様々なガンと向き合ってきました。この3年、コロナ感染による仕事、家族、人の付き合い方等を含め、今までとは違う環境があります。ストレスが本人、まわりに意識する、しないにかかわらず、いろいろな形で心や身体を蝕んでいる事は避けられません。

ガンになったら、戸惑いと不安と恐怖の思いのどん底から抜け出し、生き抜く為の実例を挙げながら、共に寄り添っていく為の氣エナジーヒーリングセラピーをここにお伝えします。

私、本人が14年前、4cmの卵巣ガンになり、緊急手術を告げられました。その時に、S状結腸ガンもわかり、一ヶ月半で、二つの大きなガン手術を受けました。腫瘍は有りますので、切除手術を受け、悪性卵巣ガンは消えていたのです。抗がん剤を出されましたが、飲まずにいました。S状結腸ガンも回復が早く、今日に至ります。

最近の実例です。つばたさとみさん（現48歳）2017年悪性胸腺腫という病気で、開胸手術です。術前に備える為のセラピーを神氣をいただき、家族一丸となり、出来る事をしっかりするというチームになり頑張りました。

術後、抗がん剤治療により髪は全部抜け落ちましたが、その他の副作用がほぼなく、本人も担当医も驚いていて、これならと一番レベルの強い抗がん剤治療まで進めて行いう事ができました。富山大学付属病院（旧富山医科薬科大学）抗がん剤治療の研究に熱心に取り組んでいた先生でした。現在、5年経ち元氣です。

実例、佐藤早苗さん（現56歳）卵巣ガン10cm。2021年7月1日手術。手術まで私のセラピー2度受ける事ができました。家族一丸となり、オイルセラピーを行い、また今できる事（水、ミネラル、サプリメントを取り入れ）はしていただきました。静岡県立がんセンターにて、手術中、迅速診断に迫られる。良悪性の判断。私の考えは、細胞の変異が起きたと思います。医者からは、稀な腫瘍という判断。ただし手術は、悪性に準じた治療、子宮、左右の卵巣、他全摘出。一年が過ぎ、元氣で富士宮から二か月に一度セラピーに通っています。

氣エナジーヒーリングセラピー 神氣降臨

